

令和8年度 新川みどり野高校 年間指導計画(シラバス)

学科	教科	科目(講座名)	授業単元	単位数	教科書	使用教材
福祉教養科	家庭	家庭総合	全	4	新家庭総合(実教出版)	新家庭総合 学習ノート(実教出版) Life Design 資料+成分表+ICT 2026(実教出版)
<p>学習の到達目標</p> <p>・人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、家族・家庭、衣食住、消費や環境など、生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。 ・家庭や地域及び社会における生活の中から問題を発見し、課題を設定、解決策を模索・実践、評価するなど、生活を見過ぎして生活の課題を解決する力を養う。 ・様々な人々と協働し、地域社会に参画しようとするともに、自分や家庭、地域の生活を主体的に創造しようとする実践的な態度を養う。</p>						
学期	月	単元	学習内容	到達目標(学習のねらい)		
前期	4月	第1章 自分らしい生き方と家族	1節 自分の未来予想図を描こうー生涯発達と発達課題ー	・ライフステージごとの特徴、課題を理解する。 ・自分の特徴や長所に気づき、人生を豊かにできるようにする。 ・人生設計に必要な要素を理解する。 ・自分の存在意義から社会について考えることができるようになる。		
			2節 自立と共生	・自立の種類とそれぞれの具体的な内容を把握する。 ・男女共同参画社会の実現をめざす歩みと社会的背景について理解し、どのような青年期を生きるかを考えることができるようになる。		
			3節 ライフキャリアを見つめ直す	・労働の種類、またその意義について多面的に検討できるようにする。 ・労働を支える社会や地域のしくみを知ること、私たちがその一員であるという自覚を持つことができるようになる。		
			4節 共に生きる家族	・結婚、家族、家庭の役割や機能について理解する。 ・時代とともに変化する家族・家庭について学習し、現在の家族の抱える課題などを理解する。		
			5節 家族に関する法律	・家族に関する法律の理念や背景、改正点について理解する。 ・法律は自分と一人ひとりの関係にもとづく社会的義務を定めて設計、改正されていくことを理解する。		
	5月	第2章 子どもとかわる	1節 子どもとは	・育児を学ぶ家族について理解する。 ・10代の発達、将来生まれてくる子どもにまつながっていることを理解する。 ・子どもの世界と出会うことによって、自己理解を深める。		
			2節 子どもの発達	・子どもの誕生、子どもの心身の発達と特徴について理解する。 ・子どもは、親や保育者などの身近な大人とのかわりあいのなかで発達していくことを理解する。		
			3節 子どもの生活	・子どもの食生活・衣生活、遊びについて理解を深める。		
			4節 子どもをはぐくむ	・子どもを産み、育てる産婦について理解する。 ・親子関係の課題を理解し、解決に向けてできることを考えることができる。		
			5節 子どものための社会福祉	・子育てのための国や地域の社会的支援について理解する。 ・子どもの権利に協働の歩みについて理解する。		
	6月	第3章 高齢者とかわる	1節 高齢社会に生きる	・高齢者、高齢社会への理解を世界の動向からも捉める。		
			2節 高齢者を知る	・高齢者の心身の特徴や生活を客観的に理解する。 ・高齢者の心身の衰化による生活行動の不安に気づき、改善をする。		
			3節 高齢者の自立を支える	・要介護の高齢者に対して必要な心がけを理解する。 ・日常生活を手助けできる介助の技術を身につける。		
		第4章 社会とかわる	4節 高齢社会を支えるしくみ	・介護保険制度について理解する。 ・介護をめぐる課題について理解する。		
			1節 支えあって生きる	・個人や家庭生活を支える社会保険制度や社会福祉についての重要性を理解する。 ・将来に向けた課題に気づく。		
	7月	第5章 食生活をつくる	2節 共生社会を生かせる	・支えあえる社会の大切さやボランティア活動を理解し、ボランティア活動に興味・関心を持てるようにし、実際の活動につなげる。		
			1節 人と食物のかわり	・食卓の役割を理解する。 ・日本の食文化の形成および和食の特徴を理解する。		
			2節 私たちの食生活	・自身の食生活の現状把握と今後の課題を理解する。 ・健康で豊かな食生活を営むための気づきや工夫を理解する。		
			3節 栄養と食品のかわり	・栄養素の種類と働きやそれぞれの栄養素が多く含まれる食品についての基礎的な知識を身につける。		
			4節 食品の選び方と安全	・季節ごとに旬の食材があることを理解する。 ・表示の読み方を理解し、情報を正確に把握する。 ・食品を見分け、よりよい選択ができるようになる。 ・食中毒に関する予防法を理解する。 ・食品添加物について理解する。		
5節 食卓の計画と調理	・家族の食生活の計画と管理ができるようになる。 ・健康と安全に配慮して、調理することができるようになる。 ・年齢や性別ごとに異なる一日に必要な食事摂取量と、それを満たすための食品の摂取量を理解する。					
9月	第6章 食生活をつくる	ホームプロジェクト	・生活の中で、よりよく暮らすための解決方法を考える。			
後期	10月	第8章 衣生活をつくる	6節 これからの食生活を考える	・日本の食料自給率の現状を理解する。 ・日本の食糧事情を解決するためにできることをみつける。 ・情報に基づいた適切な食生活を選択できるようにする。 ・食の安全と環境に配慮した食生活を営むことができるようになる。		
			1節 人と衣服のかわり	・人はなぜ衣服を穿るのかを理解する。 ・衣服が持つ機能や安全性についての知識を身につける。 ・だれもが快適な衣生活を営むための要因を理解する。		
			2節 衣服の素材の種類と特徴	・衣服素材の種類、繊維の種類と特徴、衣服素材の性能について理解し、用途に応じた素材の選択ができるようになる。 ・衣服の加工技術について理解する。		
			3節 衣服の選択から管理まで	・衣服の表示にはどのような情報があるのか、なっているのかを理解し、購入から洗濯などの管理に役立つ。 ・洗剤・漂白剤・防染剤などの種類について理解し、衣服の種類に応じた適切な選択や保管ができるようになる。		
			4節 持続可能な衣生活をつくる	・私たちの衣生活が環境や世界とどのようにつながっているのかを理解する。		
	11月	第7章 住生活をつくる	5節 私たちがつくる衣生活の文化	・日本の和服について理解する。 ・着付けを学び実践することで和服に親しむ。		
			6節 衣服をつくらう	・衣服製作を通して、衣服の構成や基礎的な縫製技術を身につける。		
			1節 人間と住まい	・住まいはどのような機能を持ち、人の生活がその機能とどうかわかっているのかを理解する。		
			2節 住まいの文化	・日本の伝統的な住居の、建築的な工夫や暮らしの工夫を見つける。 ・日本の住まいの発展、生活様式などを理解する。		
			3節 住まいを計画する	・ライフステージや住まう人の状況によって計画が変化することを理解する。 ・住まいの生活空間の機能を理解し、空間の特徴や家族のイメージをすることができるようにする。		
	12月	第9章 消費行動を考える	4節 健康に配慮した快適な室内環境	・健康的な室内環境をつくるためのさまざまな要素を理解する。 ・安全で長く住み続けるために必要な適切な管理の方法を理解する。		
			5節 安全な住まい	・家庭内事故や災害について学習し、安全な住まい環境について理解する。		
			6節 持続可能な住まいづくり	・日本の住宅政策の目的を理解する。 ・まちの課題について自分なりに解決策を考えることで、一市民としてまちづくりに参画する姿勢を持つ。		
			1節 消費行動と意思決定	・消費行動において、意思決定のプロセスが重要であることを認識する。 ・情報リテラシーを身につける大切さを理解する。		
			2節 消費生活の現状と課題	・契約、多様な販売方法や支払方法、問題解決について理解する。また、被害にあった場合の解決方法についても理解する。		
1月	第9章 経済的に自立する	3節 消費者の権利と責任	・消費者の権利と責任について理解し、消費において自主的に行動することの必要性を理解する。			
		4節 ライフスタイルと環境	・健康・環境に配慮したライフスタイルについて考え実行できる。 ・日々の暮らしの中で、持続可能な社会をめざした行動をすることができるようになる。			
2月	生活設計	生活設計	・生活設計とかわからせて、長期的な経済設計の必要性について理解する。 ・生活設計や等しいことを元に、具体的な人生設計をする。 ・仕事を進め、大まかにいつかとなにかを考える。			